

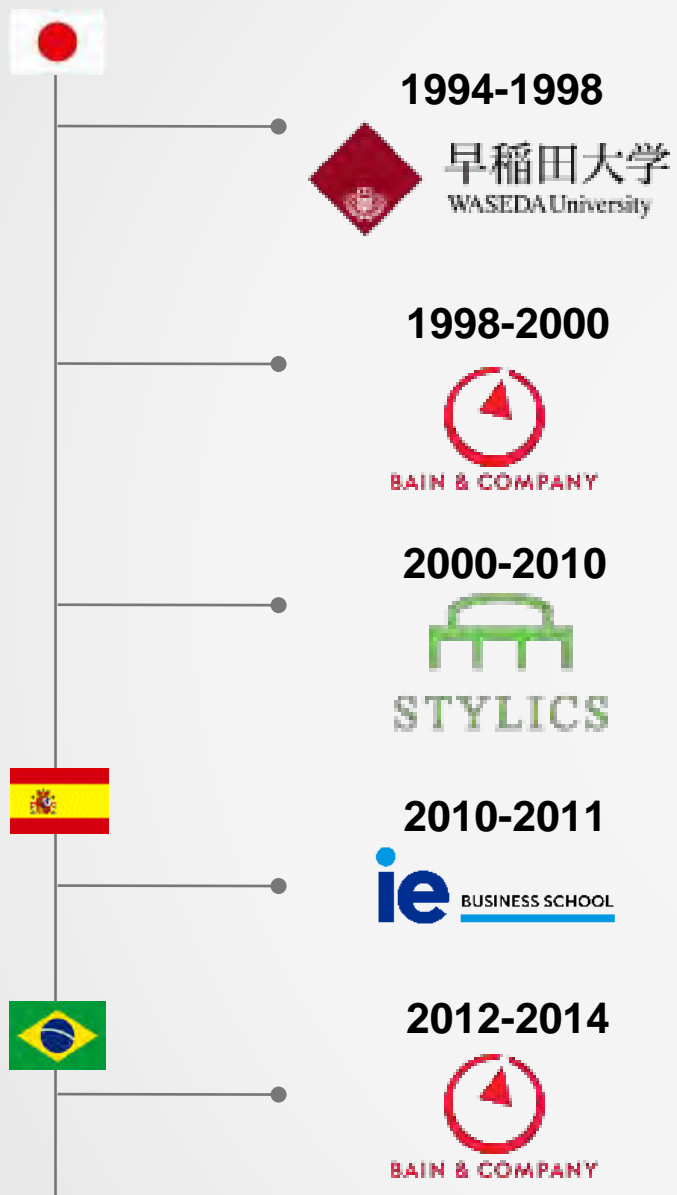


ラテンアメリカ農業市場機会へのアプローチ

B Venture Capital
2024

- 弊社のご紹介
- マクロで見るラテンアメリカのポテンシャル
- ラテンアメリカ進出日本企業事例
- ラテンアメリカ進出の課題と解決へのご提案
- Next Step

中山 充 プロフィール



B Venture Capital ラ米のスタートアップへ投資



ASSOCIATE
Fernanda Azar



GENERAL PARTNER
Alejandro Troll



ASSOCIATE
Ana María Prieto



PROGRAM MANAGER
OPERATIONS
Barbara Floriani



VENTURE ANALYST
Joselin Layme



VENTURE ANALYST
Camila Sanchez



VENTURE ANALYST
Valentina Bojacá



ASSOCIATE
Isabela Berdu



VENTURE ANALYST
Júlia Ferreira



PROGRAM MANAGER
STARTUPS
Derly Florez



PROGRAM MANAGER
PARTNERS
Rahiza Chicame

株式会社海外進出駐在代行 日本企業のラ米進出代行



JETROグローバルアクセラレーションハブ

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/iib/saopaolo2023>





JETROが公開している各国のスタートアップエコシステム調査は有用な情報源

ブラジル・サンパウロにおける
スタートアップ・エコシステム調査

2018年11月
日本貿易振興機構（ジェトロ）
サンパウロ事務所

- ブラジルにおけるスタートアップ・エコシステム調査
(2021年8月)

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2021/01/e308b202bdcd7762.html>

- ペルーにおけるスタートアップ・エコシステム
(2022年3月)

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2022/01/8c1ac99bb4975f38.html>

- アルゼンチンにおけるスタートアップ・エコシステム
(2022年2月)

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2022/01/2664031ad5ab12c0.html>

Open Innovation Challenge



2023キックオフイベント開催

～中南米・カリブ地域の開発課題解決に
チャレンジする日本のスタートアップを支援～



JICA 中南米部
南米課 課長
赤嶺 剣悟



IDB Lab 次長
竹内 登志崇



BVC CEO
中山 充

TSUBASA2021

成果報告動画
無料配信中

中南米・カリブ地域の
社会課題にどう挑む

OPEN INNOVATION
CHALLENGE
TSUBASA 2021
Co-sponsored by
JICA, IDB Lab

株式会社
アドダイス
代表取締役
CEO
伊東大輔

株式会社
ブラジルベンチャー
キャピタル
CEO
中山 充

株式会社
sustainacraft
代表取締役
CEO
末次浩詩

株式会社
アルム
チームプラットフォーム部
部長
金澤裕子

株式会社
アルム
Soluciones
Tecnológicas Informáticas
Chile-Japón SPA CEO
Luis Loyola

株式会社
Singular
Perturbations
代表取締役 CEO
梶田真実

JICA, IDB Lab

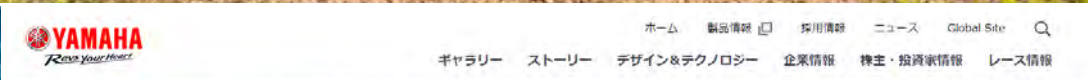
ブラジル人起業家のインタビューを日本・ブラジルで書籍化 海外進出全般についての整理についても書籍を出版



シードステージながら農薬散布をドローンで行い、 散布面積を削減することでコストも農薬使用量も低減



— DRONE FUNDが、ブラジルの農業ドローン・スタートアップARPACへ出資を実行



ヤマハ発動機株式会社 企業サイト > ニュースセンター > 2022年 ニュース一覧 >

ブラジルの農業系スタートアップ企業「ARPAC」へ出資 〜ドローンによる農薬散布事業を通じて将来のグローバルな農業ビジネスの基盤づくりを目指す〜

2022年3月18日発表

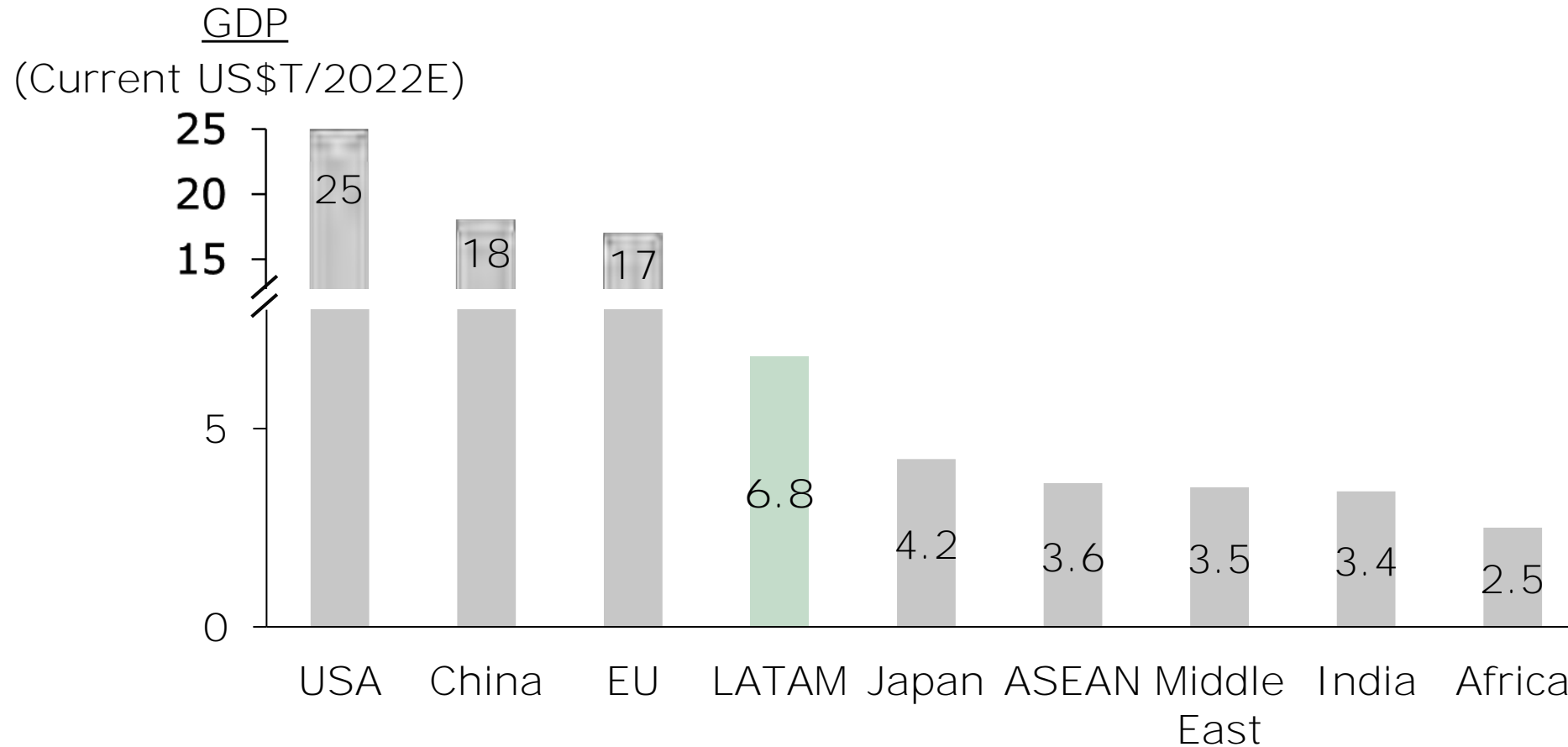
ヤマハ発動機株式会社は、このたび、農業用ドローン開発からサービス供給までの一貫したソリューションを提供するブラジルのスタートアップ企業「ARPAC INDÚSTRIA DE AERONAVES S.A.（以下、ARPAC）」に出資しました。この出資は、CVC[®]活動を行うグループ会社 Yamaha Motor Ventures & Laboratory Silicon Valleyの活動を通じて実現したものです。この出資により、当社は、ブラジルでの農薬散布事業における知見やネットワークの取得が期待できるとともに、将来的には、ブラジル以外の国々への展開も見据えた、グローバルな農業ビジネスの基盤づくりを目指します。





- 弊社のご紹介
- マクロで見るラテンアメリカのポテンシャル
- ラテンアメリカ進出日本企業事例
- ラテンアメリカ進出の課題と解決へのご提案
- Next Step

ラテンアメリカはGDP6.8兆ドルと日本や他の新興経済圏より大きく、一人当たりGDPも1万ドルを超える重要な経済圏



Population (MM)	333	1,412	447	659	125	679	286	1,417	1,358
GDP Per Capita (US\$K)	76	13	37	10	34	5.3	12	2.4	1.8

Note: The regions in the graph represent 83% of the whole world. LATAM includes Mexico and Caribbean countries.

Source: The World Bank, BVC analysis

ブラジル・メキシコは成長を続け2050年には日本を超える予測も

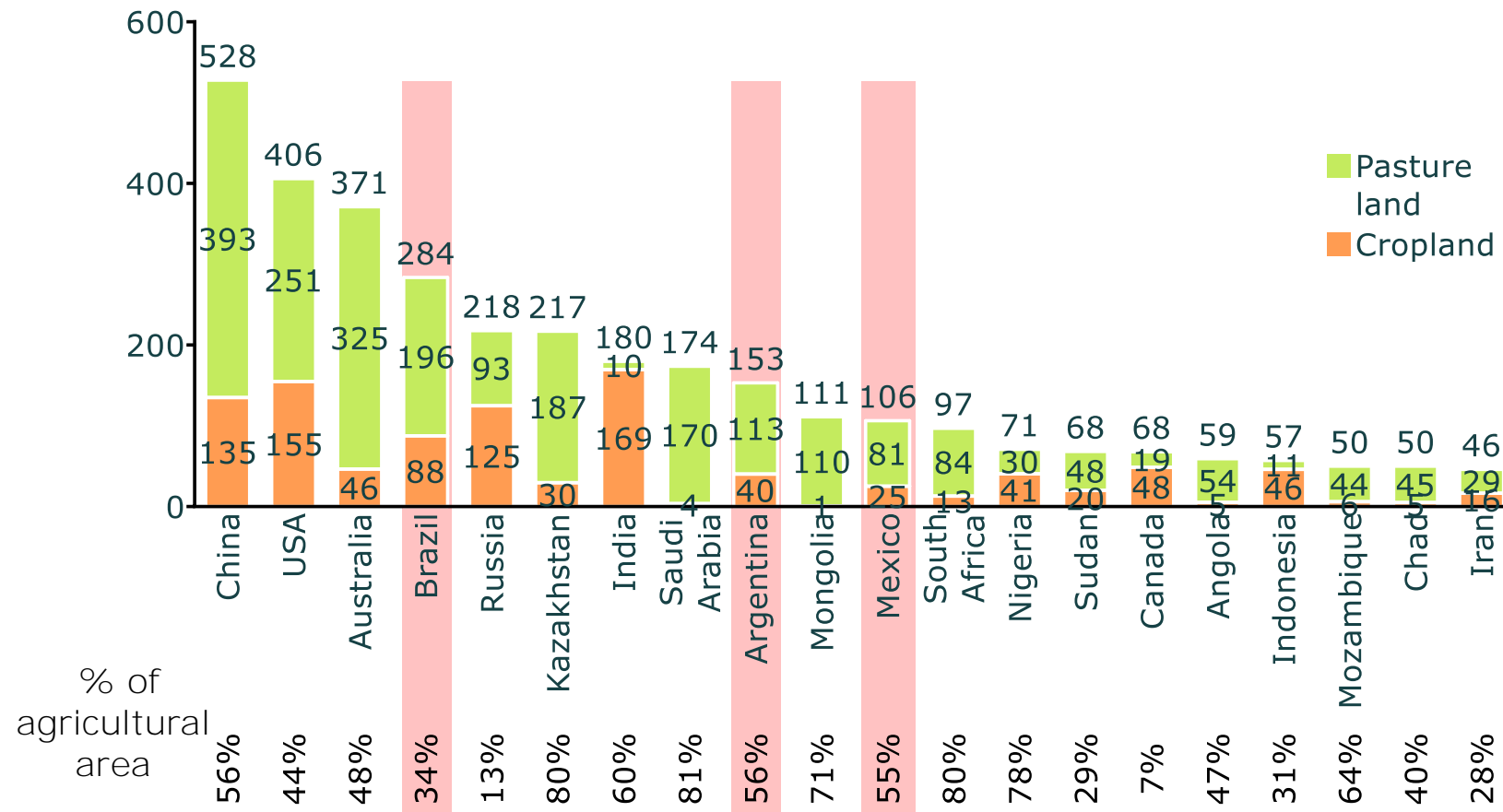
2021				
順位	国	GDP (US\$T)	人口 (億人)	GDP per capita (US\$K)
1	アメリカ	22.9	3.3	69
2	中国	16.9	14.2	12
3	日本	5.1	1.3	41
4	ドイツ	4.2	0.8	51
5	イギリス	3.1	0.7	46
6	インド	2.9	13.9	2
7	フランス	2.9	0.7	45
8	イタリア	2.1	0.6	36
9	カナダ	2.0	0.4	53
10	韓国	1.8	0.5	35
11	ロシア	1.6	1.5	11.3
12	ブラジル	1.6	2.1	7.7
13	オーストラリア	1.6	0.3	62.6
14	スペイン	1.4	0.5	30.5
15	メキシコ	1.3	1.3	10.0

2050				
順位	国	GDP	人口	GDP per capita
1	中国	61.1	13.4	46
2	インド	42.2	16.6	25
3	アメリカ	41.4	3.9	107
4	インドネシア	12.2	3.2	38
5	ブラジル	9.2	2.3	39
6	メキシコ	8.0	1.6	49
7	日本	7.9	1.1	73
8	ロシア	7.6	1.3	59
9	ナイジェリア	7.3	4.1	18
10	ドイツ	6.3	0.8	83
11	英国	5.7	0.7	77
12	サウジアラビア	5.5	0.5	122
13	フランス	5.2	0.7	72
14	トルコ	5.1	1.0	77
15	パキスタン	4.3	3.1	122

Source: IMF, PWC

世界の農地面積を見るとブラジル4位、アルゼンチン9位、メキシコ11位とラテンアメリカ各国が上位に入る

Agriculture area top 20 countries
(Million ha/2016)



ブラジルの平均農地サイズは日本よりもはるかに大きい

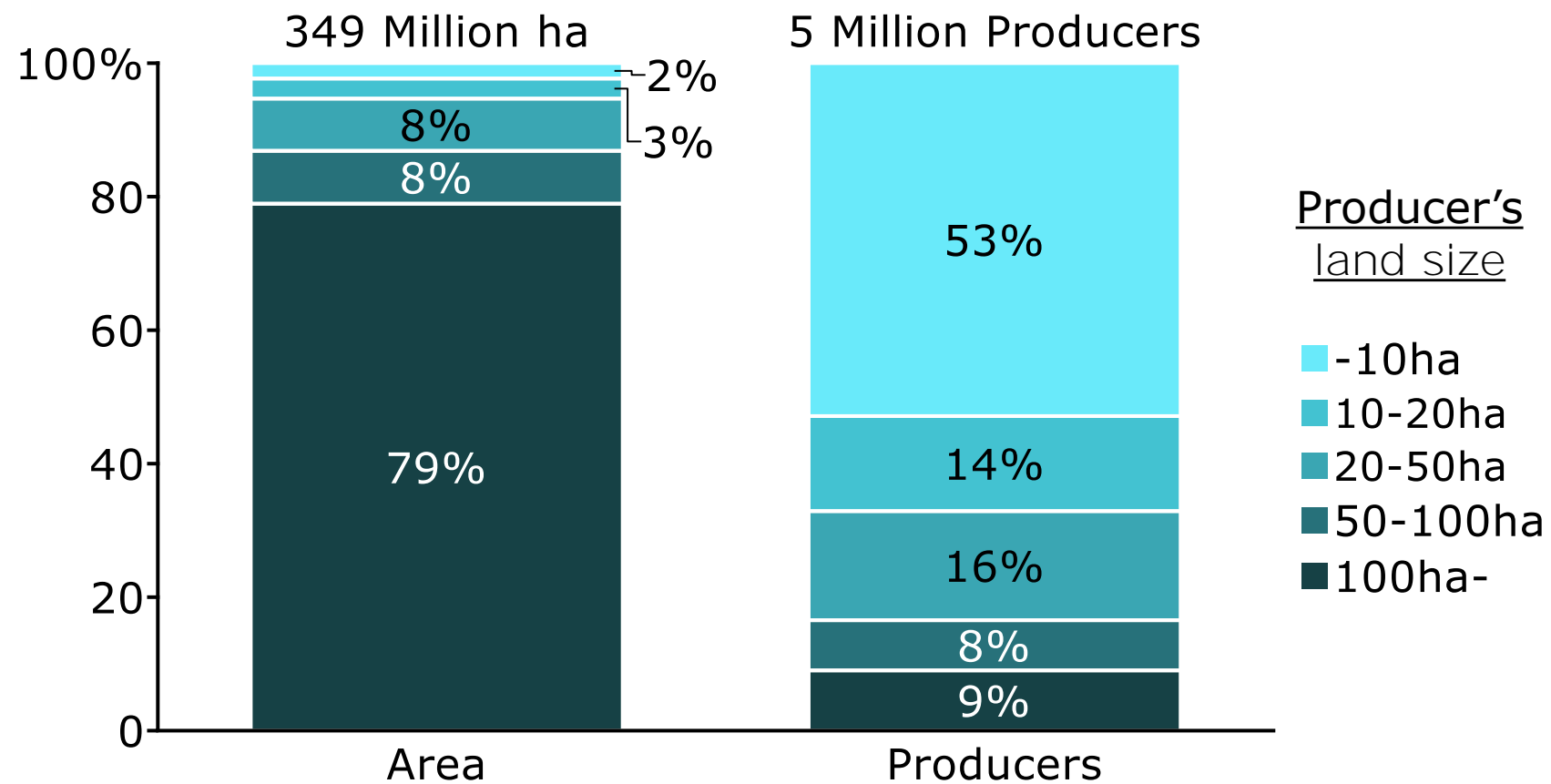


70ha
/producer



3ha
/producer

% by size of produce in agriculture
sector in Brazil (2017)



- 弊社のご紹介
- マクロで見るラテンアメリカのポテンシャル
- ラテンアメリカ進出日本企業事例
- ラテンアメリカ進出の課題と解決へのご提案
- Next Step



KOBASHI



- 弊社のご紹介
- マクロで見るラテンアメリカのポテンシャル
- ラテンアメリカ進出日本企業事例
- ラテンアメリカ進出の課題と解決へのご提案
- Next Step

サービスの背景

市場を理解するのが難しい

進出するには
手間も資金も必要

進出後も自社製品・サービス
が売れるかが疑問

ラテンアメリカ進出企業の3つの壁

- ・ 遠いのでなかなか視察に行けない
- ・ ラテンアメリカについて気軽に相談できる相手がいない
- ・ 市場調査もどの程度当てになるのかわからない

- ・ ブラジルなど、現地の支社設立が必要
 - ・ 日本からの駐在員を派遣しないといけない
- 4年間の駐在員1人あたりで約1億円の投資が必要

- ・ 販売先を開拓しなければならない
 - ・ 現地のローカルスタッフを雇わなければ業務が回らない
 - ・ 弊社製品の価格が市場に受け入れられるかわからない
 - ・ 現地法規制、税務、労務等が複雑
- 最初の売上計上まで半年ー2年かかる可能性
- 連結決算含めてバックオフィス業務が発生

一般的な進出流れと 駐在代行サービス比較

「拠点設立≠海外進出」ではなく、
「海外進出」＝「販売・営業」

一般的な
海外進出



営業開始まで、通常1年～2年程度

弊社サービス
駐在代行



弊社組織基盤を活用することで最短2か月で営業活動を開始可能

ご提案

日系企業の試験農場

対象日系企業の事例

作業機

- 中小生産者向け製品

農業資材

- 土壌改良剤
- 微生物系製品
- 農薬・肥料

精密農業

- 衛星データ系分析ツール
- ドローン・ロボティクス
- 圃場・労務管理ツール

付加価値作物

- 日系作物
- 高付加価値作物
- 養殖・畜産等管理作物

圃場

- 弊社で取得予定の場所を開放可能
- 日系農協との連携で一部貸借
- 日系企業との連携で一部貸借
- 現地農業研究所との連携

現地研究者 ・作業者

- 現地農業研究所
- 現地農業系企業との連携
- JICA等機関での研修・留学経験者

資金調達

- 日系公的資金
- 現地日系大企業
- 日本・現地参加希望企業

- 弊社のご紹介
 - マクロで見るラテンアメリカのポテンシャル
 - ラテンアメリカ進出日本企業事例
 - ラテンアメリカ進出の課題と解決へのご提案
- Next Step

JETROグローバルアクセラレーションハブ

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/iib/saopaolo2023>



ラテンアメリカ進出協議会

Latin America Transpacific Advance Meeting

<https://www.bventure.capital/latam>



ラテンアメリカ進出協議会 <brazilvc-am.gmail.com@1718b5.clients.bmsend.com>

to me

ラテンアメリカ進出協議会ビジネスヘッドラインニュース
2024年2月27日 第65号
～ラテンアメリカ進出協議会
Latin America Transpacific Advance Meeting～

ラテンアメリカ進出協議会です。
ラテンアメリカ進出協議会ビジネスヘッドラインニュースをお届けいたします。

目次

- ラテンアメリカ進出協議会からお知らせ
- セミナー・イベント情報
- 公募情報
- ラテンアメリカヘッドラインニュース
- Brasil Agora (ブラジルの今を現地よりお届け)
- ラテンアメリカ進出協議会 有料会員のご案内
- 代表の著書より

場所：サンパウロ市パウリスタ地区
日時：現地時間4月19日午前10時から
言語：英語
内容：現地VC、スタートアップのプレゼン

<https://www.sympla.com.br/evento/brazil-japan-startup-forum-2024/2307514>



BRAZIL-JAPAN STARTUP FORUM

A unique opportunity
for Brazilian startups!



Friday,
April 19, 2024



10 AM



IN SÃO PAULO

REGISTRATION IS OPEN

